第一回東京国際映画祭ヤングシネマ'85部門大賞受賞

モントリオール
国際映画祭招待作品







三上祐一
紅林　茂
松永敏行
・
工藤夕貴
・
大西結花
会沢朋子
天童龍子
渕崎ゆり子
・
佐藤　允
寺田　農
伊達三郎
小林かおり
きたむらあきこ
石井富子
・
鶴見辰吾
尾美としのり
・
三浦友和









相米慎二監督作品

台風クラブ

俺たち真夜中の体育館、いま台風の目の中だ！

どうしようもないイライラを
吹き飛ばすものを、
彼らは待ちこがれていた。





ディレクターズ・カンパニー作品
企画・製作●宮坂　進
プロデューサー●山本　勉
脚本●加藤祐司
撮影●伊藤昭裕
照明●島田忠昭
録音●中野俊夫
美術●池谷仙克
音楽●三枝成章
編集●冨田　功
助監督●榎戸耕史
製作担当●田中雅夫
東宝・ATG共同配給

東宝　atg



台風クラブ

相米慎二監督作品

東宝 ATG

東宝・ATG共同配給

かいせつ

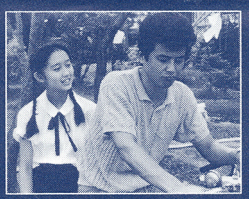
先ごろ開催された第一回東京国際映画祭の「ヤングシネマ'85」部門で堂々と大賞を獲得、審査員として来日したプロデューサーのデビッド・パットナムやベルナルド・ベルトルッチ監督などから大絶賛を受けたのが、この『台風クラブ』である。

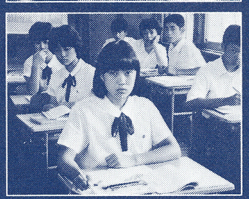
中学3年生。精神的にも肉体的にも最も振幅が激しい年ごろである。その振幅が最大限に達すると、時として狂気が生まれる。校内暴力やイジメが中学校に多いのも、このことと無関係ではなかろう。しかも、その狂気は集団感染することもあるようだ——。

この作品は、そうした狂気に突然襲われた中学3年生を、接近する自然現象としての台風のイメージにダブらせながら描いた作品である。舞台は東京近郊のある中学校。台風の接近が彼らのある感情を昂ぶらせ、それが狂気へと変化し、やがて鎮静化していくさまが4日間のドキュメントに仕立てられている。

彼らはなぜ台風をきっかけに爆発したのか。彼らにとっての台風とは何なのか。そして、彼らの狂気は一過性のものなのか……。

脚本は若手監督集団＝ディレクターズ・カンパニーのシナリオ募集コンクールで準入選を果たした加藤祐司のオリジナル。独自の手法で異才を放つ相米慎二監督が、ヤングの狂気にどう迫っていくかが見ものである。







ものがたり

東京近郊のとある地方都市。その市立中学校の校庭の一角にあるプール中央に黒い坊主頭が時折見え隠れする。そこに突然5人の女の子がなだれ込んで来た。泰子（**会沢朋子**）、由美（**天童龍子**）、みどり（**渕崎ゆり子**）、そして理恵（**工藤夕貴**）、ひとり離れて美智子（**大西結花**）。彼女たちはこっそり夜のプールに泳ぎに来たのだ。しかし、先に来ていた明（**松永敏行**）に気付き、共謀して彼をからかうのだが溺死寸前まで追い込んでしまう。あわてた彼女たちは偶然出会った同級生の恭一（**三上祐一**）と健（**紅林茂**）の二人に助けを求める。二人とも野球部員で、夜のランニングの途中だった。さらに担任の梅宮教師（**三浦友和**）も慌てて駆けつけ、生徒達のイタズラを諭す。

翌日、恭一は登校の道すがら、理恵に昨夜のことを詰問する。マジメな恭一には理恵が泰子たちとつき合うことが好きではないらしい。しかし理恵はそんなことより、ニュースが告げていた台風のことを話すだけだった。

授業中、梅宮の恋人・順子の母親（**石井富子**）たち3人が結婚の約束を引き延ばしている梅宮に直談判に来た。母親は生徒たちの前で、梅宮が順子に大金を貢がせたと大声を出す。そんな様子に授業は続けられなくなり、教室の中に動揺が生まれる。

その夜、大学生で帰省中の兄・敬士（**鶴見辰吾**）と哲学っぽい問答をした恭一は、遊びに来ていた理恵を無視するかのように、夜のランニングに健を誘いに行く。健は明といっしょに彼の家の裏にある崖の上にいた。3人はそこでクラスの女の子の話に興じ始める——明が目撃した、泰子と由美の変な関係。健の好きな美智子のこと。健は以前に美智子の背中にケガをさせたことがあった。それは健の美智子に対するつのる想いのせいだった。そして恭一を好きな理恵のこと——。

刻一刻と台風が近付いて来る土曜日の朝。いつものように恭一は理恵の団地の前で待ち合わせたが、理恵はやって来ない。

授業が始まってすぐ、梅宮に嫌悪感を抱く美智子が「昨日の醜態を説明してくれなければ授業を受けない」と梅宮に迫った。それがキッカケで教室中が大荒れとなる。

「お前ら、どっかおかしいぞ」と叫ぶ梅宮。

放課後、風が強まり雨も降り始めてきた。いよいよ台風がやって来るのだ。

激しい風雨の中、学校を去る梅宮のあとに校内に残った人々のドラマが始まった。美智子を執拗に追いかける健。美智子を追いつめた健が我に返ったのは、美智子の背中を見た時だ。家出したらしい理恵のことを考える恭一。演劇部の部屋にとじこもって帰りそびれた泰子、由美、みどり。

台風が彼らの頭上を通過する時刻、学校の中で彼らは一時の憩いを味わう。カセットから流れる音楽に合わせて全員が踊り始め、饗宴は夜更けまで続けられた。

その頃、理恵は東京に出て、行きずりの若い男・小林（**尾美としのり**）に誘われるまま彼の下宿についていってしまう——。

やがて夜が明け始め、台風も過ぎ去る気配なのだが……。

8月31日(土)よりロードショー！

一般￥1200(当日￥1500)
特別ご鑑賞券高・大生￥1100(当日￥1300)好評発売中
中学生￥1000(当日￥1200)

有楽町駅前(そごう側)有楽町ビル内
スバル座 (212) 2826